

# 令和4年度の教育活動等に対する学校評価書

1. 教育目標 自立性のある子供 元気にあそべる子

2. 本年度の重点目標 (学校評価の具体的な目標や計画)

地域の公立幼稚園、小学校を招き公開保育を実施し、当園の教育内容の理解を図る機会としたい。

3. 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

<※評価点はA(十分に成果があった)・B(成果があった)・C(少し成果があった)・D(成果がなかった)>

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
	評価点	幼稚園としての反省と改善点	評価点	意見
I 保育の計画性	A	月案、週案に基づいて、考えながら保育計画を立てて、すすめているが、幼稚園指導要領を再度見直していきたい。	A	幼稚園教育要領を読み込んで理解を深めたいという先生が何名かいるので、更に保育の質を高めて欲しい。
II 保育の在り方・幼児への対応	A	職員間で必要な情報を共有しているが、担任任せで共通理解まで出来ていない。更に理解を深めていきたい。	A	怪我をしてしまった時や、援助が必要な子の情報共有を今後も続けていき、それ以外のクラスの様子も情報共有できるといい。
III 保育者としての能力や良識・適正	A	日々の子供達の成長と一緒に喜び、生活習慣を身に付けられるよう援助する立場として保育者本人も整えるようにしている。より良い保育を目指す為に視野を広げ、知識を得ていきたい。	A	整理整頓をしっかり行いたいという先生が多く、今後も意識的に行って欲しい。また研修参加に意欲的な先生もいるので保育者としての専門知識や技能の習得のために積極的に受講していきけるといい。
IV 保護者への対応	A	保護者に子供の日々の様子を伝えたり、体調面について等をこまめに話したりし、安心していただけるように努めている。直接会って話す時間が設けられない場合は、手紙や電話等で対応していく。	A	どの先生も丁寧な保護者対応を心がけ、日々の子供の様子をこまめに伝えているので保護者の安心につながっていると思う。
V 地域の自然や社会との関わり	B	地域の方への挨拶はしっかりできているが、関わりを深める為近隣の小学校や地域の情報を自ら得ようとする働きかけをしていきたい。	B	公開保育を実施し、近隣の小学校の先生を園に招待することができ、園について理解を深めてもらえて良かった。個々の先生の反省をみると小学校との関わりを深めたいという意見が多く見られるので積極的に関わるといいと思う。
VI 研修と研究	B	コロナ禍ということもあり、外部の研修にはなかなか参加できていなかったが、発達支援の専門家の方が園に来た時に支援の仕方等教えてもらうことができた。今度も自ら課題を見つけて研修に参加していきたい。	A	配慮が必要な子供への対応について意欲的に研修、研究ができていてよかった。引き続き保育の質を高めるよう研修研究を続けて欲しい。

4. 本年度の重点目標の総合的な評価結果

浜松市の私立幼稚園と地域の公立幼稚園、小学校を招き公開保育を実施した。当園の教育内容の理解を図る機会となった。

5. 今後取り組むべき課題

0歳児から未就園児までの子育て支援を積極的に取り組んでいきたい。